

一般質問

市の明日を考える!

6月定例会の一般質問は、6月17日から20日までの4日間にわたって行われ、19人の議員により、活発な議論が展開されました。
主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。



質問者ごとにQRコードを掲載しています。

スマートフォンなどで読みとっていただきますと、録画映像をご覧くださいます。

[発言順]



佐久間 好夫

[真誠会]

- 問** 東和学童保育所の通所安全対策について伺う。
答 国道349号線の歩道にガードレール等の設置を要望していく。
- 問** 岩代地域杉内仮設住宅跡地の有効活用は。
答 市民のスポーツの振興と健康増進を図るため、人工芝サッカーコート2面と、トイレ・駐車場等を整備する。
- 問** 新生児難聴支援について伺う。
答 市では「新生児聴覚検査実施要綱」により、「母と子の健康のしおり」に添付して新生児聴覚検

東和学童保育所の通所安全対策は

安達地方減容化施設の安全対策は

- 査受検票を交付している。
- 問** 2年前の豪雨による東和地域の市道整備について伺う。
答 支所と連携し被災箇所の点検を密に行い、適切な安全対策を講じながら災害復旧を図る。
- 問** 安達地方減容化施設の安全対策について伺う。
答 廃棄物運搬に伴う安全対策が図られており、7月の仮設焼却施設運営協議会の結果は「安達地方減容化事業だより」を東和地域の各世帯に配布する。施設見学は、協議会で決定し受付する。

大規模災害時の対応は

若年者や子育て世代に選ばれる要素は

- 問** 大規模災害時の職員配置体制は。
答 職員配備計画により、震度5弱以上で半数、震度6弱以上で全職員が登庁することになる。
- 問** 災害時の備蓄品詳細と配備施設はどこか。
答 食料として、アルファ米と備蓄用クッキーを約25,000食、水は500mlのペットボトルで25,000本を、本庁、各支所、各住民センターに備蓄しており、衣類や携帯トイレ、マスクなども保管している。
- 問** トイレトレーラーの導入の考えは。



坂本 和広

[真誠会]

- 答** 水洗トイレを搭載した専用トレーラーは、被災地に到着後すぐに利用できるメリットがあり、財源の確保も含めて検討していきたい。
- 問** 若年者や子育て世代に対する政策的支援策は。
答 就業支援や住居関係の補助、子育て支援では、第2子以降の原則保育料無料化などの支援策を多数実施している。
- 問** 地域情報分析システム(リーサス)の活用は。
答 市の総合的な施策の検討や立案に際し、分析から得られる情報を活用している。



齋藤 徹

[市政刷新会議]

本市の防犯灯及び商店街街路灯への対応は

二本松城跡前施設の現状と物販への対応は

問 二本松駅南地区整備において周辺地域の市海道・茶園・金色地区の防犯灯の新設は考えているか伺う。

答 既に何箇所か街路灯を新設している。今後、駅南地区の整備が進む中で、人の動線が変わり街路灯が必要となる所もある。要望をいただきながら現地を精査し、検討していく。

問 商店街街路灯の維持管理・電気料の補助や無料化の支援について伺う。

答 商店の減少問題もあることから、設置時の補助

事業の活用状況、事業採択時の要件の確認等、実態の把握と今後の維持管理のあり方について、調査、研究することも検討していく。

問 二本松城跡前施設の現状と物販への対応は。
答 令和3年度の施設オープンを目指し、実施設計を進め、予定地において埋蔵文化財の調査を実施している。発掘物に関しては、当該施設の展示資料として活用する。物販に関しては、桜まつりや菊人形展などのイベント時に、当該施設や多目的広場などでの物販を予定している。

農業機械保守点検事業は

道路整備の見通しは



安齋 政保

[市政会]

問 平成30年度の利用者数と利用された農家の面積別の内訳は。また今後の取組みは。

答 市全体で18件の申請があり、16名が利用。受託面積の内訳は、2ヘクタール未満が2名、2ヘクタール以上5ヘクタール未満が4名、5ヘクタール以上10ヘクタール未満が7名、10ヘクタール以上が3名となっている。今後は、必要があれば事業内容等の見直しも検討していく。

問 一級市道33号線、赤坂山・田尻線の側溝改修

(上川崎道下地内)による道路部分改良は。
答 道幅が狭く側溝も低い位置に敷設されており、今後の車のすれ違いに支障のある状況であり、今後、交通量、緊急性も含め調整して検討していく。

問 市道245号線、陣場・油王田線(小沢地内)の部分拡幅はできないか。

答 通勤時間帯を中心に交通量も増え、また通学路にも指定され安全確保が課題であり、交通量、緊急性も含め調査を行い、財政状況も十分考慮しながら検討していく。



本多 俊昭

[無所属]

農業振興と復興・再生並びに
市民生活の安全安心確保の現状は

問 福島県が実施したため池等のモニタリング調査で1,000Bq(ベクレル)単位ごとの箇所数は。

答 市内全体で150箇所のため池調査において放射性セシウム濃度の分布内訳は、1,000Bq未満10箇所、2,000Bq未満17箇所、3,000Bq未満18箇所、4,000Bq未満10箇所、5,000Bq未満10箇所、6,000Bq未満12箇所、7,000Bq未満7箇所、8,000Bq未満8箇所、9,000Bq未満10箇所、10,000Bq未満5箇所、20,000Bq未満25箇所、30,000Bq未満10箇所、40,000Bq未満4箇所、

50,000Bq未満4箇所である。

問 住民センターごとのため池除染箇所数は。
答 二本松地域で、二本松、塩沢地区共に0箇所、岳下地区1箇所、杉田地区5箇所、石井地区8箇所、大平地区4箇所、安達地域で、油井、下川崎地区共に0箇所、渋川地区1箇所、上川崎地区6箇所、岩代地域で、新殿、旭地区共に0箇所、小浜地区5箇所、東和地域で、針道地区2箇所、戸沢地区2箇所、太田地区6箇所、木幡地区7箇所である。

限界集落となった地域の今後の対応は

パークゴルフ場建設予定地は



平栗 征雄

[市政刷新会議]

問 限界集落では1人住いや2人住いの高齢者が増えてきており、コミュニティ社会の崩れが生じ交流の無い地域となりつつあるが、地域づくりについてはどのような対策があるか。

答 アンケートによると外出する傾向が高く、元気な方が多く見受けられ、健康づくりやグループ活動等の地域活動の担い手として期待している。「老人クラブ」への支援もあり、皆さん利用して活躍していただきたい。

問 広大な市有地のスカイピアあだたらを十分に生

かし、健康維持・増進を図る施設建設は、大変喜ばしいと感じる。場所や施設設計事業者の選定について、その進捗状況を伺う。

答 場所の選定は、老人クラブ等利用者の要望もあり、早期に完成させること、市の経費負担を極力抑えること、温泉施設があり市民の健康増進に有効であることを総合的に勘案し、スカイピアあだたらを候補地として考えた。今後、設計業者は、市の入札制度に則り選定していく考えである。公認コース等も今後検討する。



鈴木 一弘

[市政刷新会議]

問 公共交通無料化実施に伴う効果について伺う。

答 本年4月、5月と前年同月の乗車人数については、コミュニティバスについては減少し、デマンドタクシーについては24.5%の増加、ようたすカーは22.6%の増加となり、高齢者の公共交通の利用促進につながっているものと考えている。75歳以上の運転免許証の自主返納についても、増加傾向であり一定の動機付けの効果があるものと考えている。

問 改正健康増進法における法の解釈と本市の受動

公共交通運賃無料化実施に伴う効果は

本市における受動喫煙防止対策は

喫煙防止対策は。

答 本市の受動喫煙防止対策は、望まない受動喫煙防止に積極的に取り組むことで、市民の一層の健康増進を図り「健康長寿都市・二本松」を実現するため、市庁舎をはじめとする第一種施設及び公園・体育館等の第二種施設を含め市公共施設については、7月1日より敷地内全面禁煙とする。ただし、市内4ヶ所にある「道の駅」については、屋外喫煙場所の設置について、今後検討する。

地域の安全を担う消防団員の今後の確保策は

安全で安定した水の確保を



石井 馨

[無所属]

問 消防団員の確保対策と待遇改善について、火災や災害時などの出勤に対する手当が必要と思うが、当局の考えを伺う。

答 事業所などへの訪問で団員が活動しやすい環境作りを進めている。建設業者等の格付け項目に消防団活動協力を盛り込んでいる。出勤手当については、出勤状況の把握が難しく現時点では一人年額8,000円の活動報償費を支給している。変更する予定はない。

問 水道未普及地における今後の拡張計画は。

答 上水道、岩代・東和の簡易水道も含め、未普及地解消事業調査の結果等を踏まえ、事業の在り方等を含めて、総合的に検討していく。

問 井戸ボーリングについて現在の補助率、補助額は現状に合っていない。増額すべきでは。

答 井戸ボーリングに対する補助金については、生活用水確保に支障を来している現状に鑑み、利用者負担軽減につながる制度への改善を検討していく。



小林 均

[公明党]

問 会計年度任用職員に移行する臨時職員の人数及び業務内容は。また、処遇改善の考えは。

答 現在347人。30種程度の雇用形態があり、詳細を整理中。改正法に沿って処遇改善を図る。

問 2020年4月までのスケジュールは。

答 配置計画・予算は年内までに調整、関係条例等は12月議会に提案、4月採用に向け準備中。

問 フルタイム・パートタイム勤務の運用内容は。

答 原則として、パートタイムでの任用を基本とする。フルタイム勤務の職員は共済組合加入や退

会計年度任用職員制度の実施内容は

乳児用液体ミルクを災害時の備蓄品に

職手当の支給等多額の財政負担が生じるため、真に必要な職種に限定せざるを得ない。

問 災害時の備蓄品に、本年3月から販売が開始された国産の液体ミルクを加えてはどうか。

答 災害時、乳幼児にとって必要不可欠なものであり、今後整備すべき備蓄品として検討する。

問 液体ミルクのその他の効果をどう考えるか。

答 災害時以外にも、外出や夜間の授乳の際も重宝であり、男性や祖父母でも容易に授乳できることから、男性の育児参加を促すものとする。

通学路等の安全対策は

定住促進住宅取得奨励金の制度改正の考えは

問 防犯対策における登下校時の対応と指導について伺う。

答 各学校において、二本松警察署の協力を得ながら、児童生徒の発達段階と各地域の実態に応じた交通安全教室、防犯教室を開催している。今後も関係機関等共有し児童生徒の登下校時の安全確保に努めていく。

問 支給対象を市内業者と契約して建設した場合にのみと改正した理由は。

答 財源として、国から交付された復興支援交付



小野 利美

[市政会]

金を充てていたが、それが無くなったことと、地元の業者を活用することにより地域経済の活性化を図ることが主な理由である。

問 住宅を取得する若い世代が平等に支給を受けられることができるよう、規定等の改正の考えはないのか。

答 若い世代の定住促進と地域経済の活性化を図るために実施してきたが、財政状況等も考慮し、今後の推移を見守っていきたい。



加藤 建也

[無所属]

サッカー場と岩代公民館宿泊施設整備による

岩代地区の振興は

問 岩代地域の杉内多目的運動広場サッカー場整備の進捗状況と財源について伺う。

答 人口芝サッカーコート2面等を約10億円の予算で過疎債を充当し整備するが、サッカー協会の補助金も生かせる。

問 岩代公民館宿泊施設整備の進捗状況を伺う。

答 サッカー場の整備と併せ、地域住民や公民館利用者の利便性の確保や望ましい宿泊施設のあり方などについて調査研究を行い、検討を加えていく。

問 サッカー場整備による岩代地区の振興をどのように捉えているのか伺う。

答 施設の整備により施設利用者の増が見込まれ、そこから波及効果も生まれ地域の活性化につながるかと考えている。



サッカー場整備予定の杉内多目的運動広場